

FISHING トピック No.30

はる うみづ づ 春の海釣り～サビキ釣り～

立夏（夏の始まり）を迎え、汗ばむような陽気の日も多くなってきましたね！さて、5月20日～21日に開催を予定している主催事業「親子で釣りに挑戦」の下見へ柄杓田漁港に出かけました。今回はサビキ釣りに挑戦し大漁を目指します。下見当日は波も風も殆どなく絶好の釣り日和！早速釣り開始。アタリを待っていると…小さなアタリが！ウキが沈まなかったので、そのまましばらく置いて、仕掛けを上げて見るとカタクチイワシが鈴なりに釣れていました。カタクチイワシは大人になっても14cm程にしか成長しない小さなイワシの仲間です。寿命は2～3年程度。ただ、大型の魚や海鳥そして人間と天敵が多く寿命を迎える前に他の生き物のエサとして食べられることが多いようです。大きな群れを作って生活しているので、群れがいれば簡単に釣り上げることができます。今回はちょうど群れがいたようで次々と釣り上げることができました。



カタクチイワシを釣っていると強烈な引きが！明らかにカタクチイワシとは違う引きの強さ。上がってきたのは20cm越えのコノシロでした。コノシロは以前（No.22）紹介したボラと同じく出世魚です。シンコ（4～6cm）⇒コハダ（7～10cm）⇒ナカズミ（11～14cm）⇒コノシロ（15cm以上）と成長するごとに名前が変わっていきます。子どもの頃ほど価値が高く、大きくなると値段は下がっていきます。青魚特有の臭みがあると同時に小骨が多いため敬遠されがちな魚ですが、酢締めや唐揚げなどにして食べると、とても美味しいです。コノシロもカタクチイワシと同じで群れで生活しています。この日は群れが小さかったようで2匹しか釣り上げられませんでした。釣りの醍醐味のひとつである魚との駆け引きを楽しむことができました！主催事業当日は群れが大きく大漁になることを切に願っています。あと、天気も！